



みさき

28号

美咲町議会だより



主な内容

**24年度予算内容を審議
柵原地域保育園建設に6億円**

予算委員会からの報告

3～5

新年度の政策をたず

議員12人が一般質問

6～17

組合議会からの報告

19

3月定例会の報告

3月7日から
3月22日まで

定例会が招集され、23年度補正予算および24年度一般会計当初予算など予算43件、条例16件、その他5件などの議案が上程された。

条例の改正

条例の改正などが上程され、審議の結果全会一致で承認した。主な内容は次のとおり。

新しく使用基準を定める

◎大井和地域活性化センターの設置及びび管理に関する条例

施設を使用する際の基準を設定することで、将来的には指定管理者制度を適用するための新たな条例を制定する。

三休公園特別会計を廃止

◎美咲町特別会計条例

の一部を改正

指定管理者に管理を委託した三休公園事業特別会計を廃止し、一般会計に統合する。

住民税などを一部改正

◎美咲町税条例の一部を改正

地方税法関連の法令が改正されたため、美咲町税条例の一部を改正する。

国民健康保険税を値上げ

◎美咲町国民健康保険条例の一部を改正

国民健康保険制度の健全化を図り、安定的な事業運営を行うた

め、保険税率を改正する。

基金の内容を変更

◎美咲町肉用牛導入事業基金条例の一部を改正

国の家畜導入事業の終了により、美咲町肉用牛導入事業基金第1号基金を閉鎖する。

打穴分館を廃止

◎美咲町立公民館条例の一部を改正

木工学習施設として使用するため、美咲町公民館打穴分館を廃止する。

条文の一部改正

◎美咲町立図書館条例

の一部を改正

図書館法の法令改正に伴い美咲町立図書館条例の一部を改正する。

条例の一部を改正

総合体育館アリーナ1時間全面使用の場合の照明料金を、全点灯



みんなで支えよう高齢化社会

介護保険料を値上げ

◎美咲町介護保険条例の一部を改正

介護保険制度の安定的な運営を行うため、保険料率を改正する。

使用料金を使いやすく改正

◎美咲町中央運動公園

音楽棟を一般にも貸し出し

◎美咲町立学校施設使用条例の一部を改正

中央中学校に新設した音楽棟を一般開放する。

河川公園を追加

◎美咲町ふるさと公園設置及び管理に関する条例の一部を改正

飯岡地区ふれあい河川公園を新たに追加して設置し管理を行う。

条文の一部改正

◎美咲町営住宅管理条例の一部を改正

公営住宅法施行令の改正に伴い美咲町営住宅管理条例の一部を改正する。

町有住宅を追加

◎美咲町有住宅管理条例の一部を改正

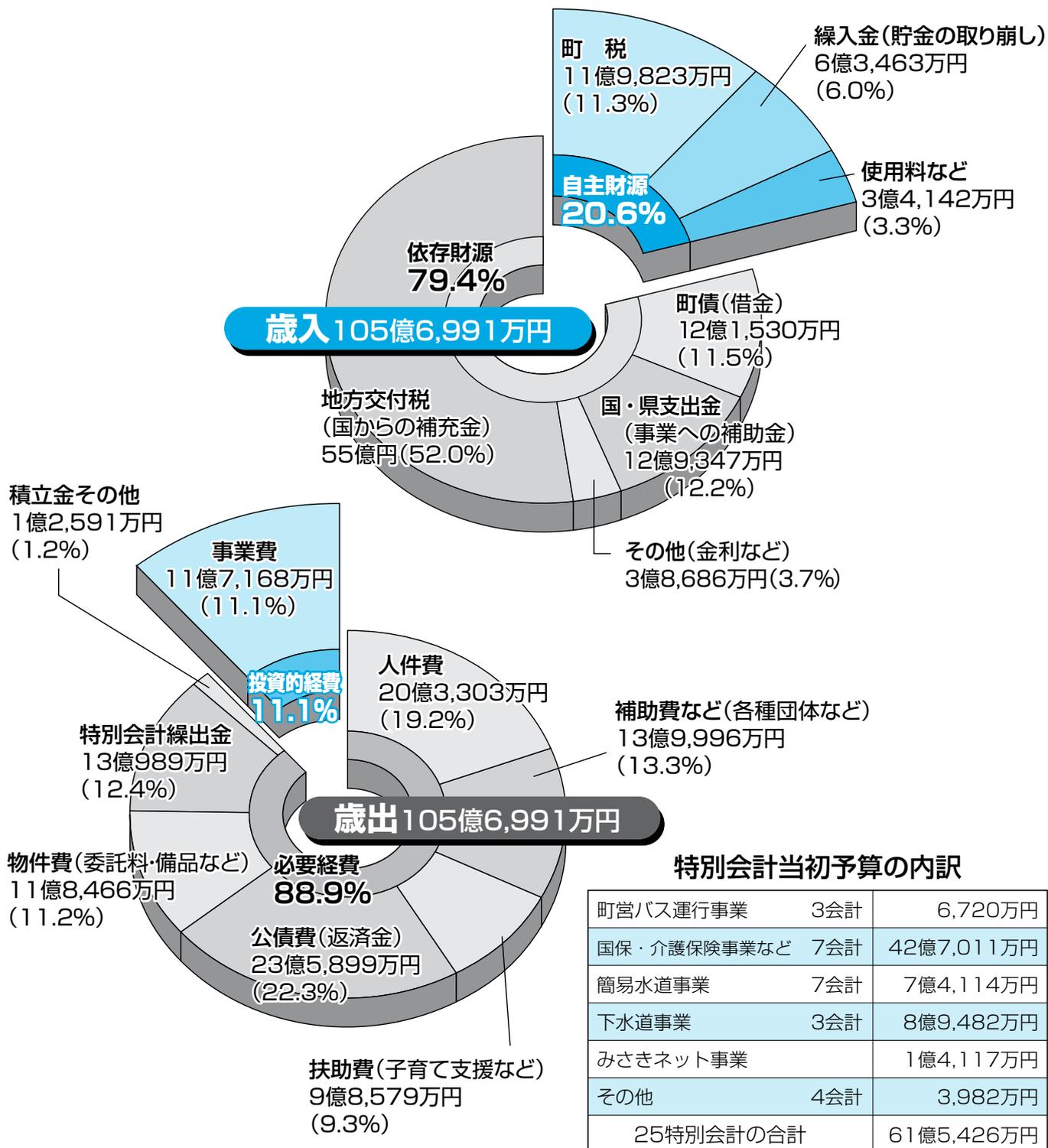
「かめのこう住宅」を新たに追加して設置し管理を行う。

● 24年度当初予算

町税は合併当初から1億円減

一般会計歳入歳出予算の内訳

前年度比4.7%減 一般会計 105億6,991万円
 前年度比1.8%増 25特別会計 61億5,426万円



目的を明確にして より計画的な取り組みを

予算特別委員会(3月14日・15日・19日)

24年度一般会計当初予算は、前年度比4・7%減の百五億六千九百九十一万円。主な新規事業は柵原地域の保育園建設に約六億三千万円を投じる。

収入は、自主財源と地方交付税など。財源の不足は十二億円強の町債(借金)で埋めている。

25特別会計の総額は、前年度比1・8%増の六十一億五千四百二十六万円。一般会計からの繰出金は総額約十三億円にも上り、財政硬直化の一因でもある。

町の現状は景気低迷により、町民税など自主財源の増加は見込めない。財政運営にあたっては①徹底した歳出削減②特別会計繰出金の引き締め③住民ニーズへの適切な対応④目的を持った計画的な取り組み⑤みち停あさひ臨時管理費の再検討などの点に十分留意した予算執行を求める。

平成24年度一般会計当初予算

【歳入】

種別		予算額	前年度比
自主財源	町税	11億9,823万円	0.46%
	基金繰入金	6億3,463万円	▲12.84%
	繰越金	5,000万円	0%
	使用料及び手数料	6,708万円	▲1.4%
	諸収入	8,831万円	8.00%
	分担金及び負担金	1億1,266万円	▲6.39%
	財産収入・寄付金	2,337万円	▲5.65%
依存財源	地方譲与税	1億7,834万円	▲3.76%
	地方消費税交付金等	2億852万円	▲5.66%
	国庫支出金	6億5,802万円	▲40.22%
	県支出金	6億3,545万円	2.59%
	町債	12億1,530万円	1.01%
	地方交付税	55億円	0%
合計		105億6,991万円	▲4.73%

【歳出】

区分		予算額	前年度比
1	議会費	1億1,374万円	▲11.01%
2	総務費	10億6,377万円	2.78%
3	民生費	32億2,916万円	25.91%
4	衛生費	11億3,192万円	2.23%
5	労働費	1,700万円	0%
6	農林水産業費	6億7,273万円	5.75%
7	商工費	6,794万円	▲17.31%
8	土木費	7億1,089万円	▲0.7%
9	消防費	3億 658万円	0%
10	教育費	6億8,163万円	▲63.51%
11	災害復旧費	1億6,225万円	151.36%
12	公債費	23億5,899万円	▲6.09%
13	予備費	5,331万円	0.67%
合計		105億6,991万円	▲4.73%

予算特別委員会

主な質疑応答

【企画財政課】

問 新規事業となる防災資機材整備補助金の内容は。

答 設立された自主防災組織1団体に對して上限20万円の防災資機材購入補助金を交付する。新年度は20団体への支給を見込む。

問 町税の収入は今後どうなる。

答 個人・法人町民税、たばこ税は多少増えると予測。固定資産税は評価替えで減収となる。

【総務課】

問 選挙投票所の再編成が進んでいるが、投票所が遠くなることへの配慮は考えているのか。

答 旧投票所から新行がでないか県と協議する。

【情報交通課】

問 みさきテレビへの加入率が59%と低い。対策は。

答 サンテレビの阪神戦など野球放送を検討中。サービス向上で加入率を増やしたい。

【保健福祉課】

問 国民健康保険税の介護保険料はどの程度アップするのか。

答 人によってさまざまだが、例として「年間所得約七十万円で一人暮らしの70歳女性」の場合、国民健康保険が年間七千九百円、介護保険料が月に九百九十円アップする。

【健康増進課】

問 新規事業となる電話相談事業とはどのような内容か。

答 年中無休、24時間体制で医療に関する適切なアドバイスを受けることができる。救急医療の適正化・適正受診を行うため健康不安の緩和、軽症患者の適正受診、救命救急センターへの集中回避などの改善が期待されている。

【生涯学習課】

問 1月に開催された「晴れの国岡山駅伝大会」に美咲町も参加したが、準備不足だったのではないか。

答 時間的な余裕がなかった。第2回開催に向けては長期的に準備を整えたい。

【教育総務課】

問 加美小学校・中央中学校プール新設の予算が計上されていないのはなぜか。

答 プールの深さ、時間などの詳細を検討し、24年度中に結論を出したい。

【産業観光課】

問 狩猟免許を取得するための補助金活用状況はどうか。

答 わなど銃の免許取得にかかる費用の半額を補助している。23年度ではわな14人、銃3人が補助金を活用して免許を取得した。今後も継続する。

常任委員会 報告

国保会計の不足分に5000万円を繰り出し

23年度一般会計補正予算などを各常任委員会で審査した結果、全会一致で承認した。

一般会計歳入歳出から七千六百四十四万円を減額し、総額を百二十一億二千三百七十一万円とするもの。

主な歳出は▽減債基金積立金五千万円▽柵原総合支所庁舎解体撤去事業千五百万円▽国保会計繰出金五千万円▽簡易水道特別会計繰出金千五百五十八万円▽土地改良等事業費二千七百三万円▽災害復旧費四千五百二十万円減額▽公債費二千二百万円減額

国民健康保険事業など特別会計16会計は、事業の実績見込みなどによる増減。



初めて開催された市町村対抗駅伝大会
(岡山市百間川河川敷)

問

一般質問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する

質問

自主防災組織

強化の方策は

機材購入の補助金を

交付する

答弁



草苅良明 議員

救出救助・避難誘導用具・給水用具・収納庫等の機材の購入費用として二十万円を限度に全体事業費の2/3に

ついて補助金を交付する。

これを活用して地域の実情に合った自主的な防災組織を設立してほしい。

幼少期からの

英語教育の強化を

問

町長は人づくりを政治指針にして、英語教育も人づくりの大事な要因であ

る。

県も第3次おかやま夢づくりプランの中で「英語圏岡山」を提唱

している。日本の企業においても英会話の重要性が増えている。子どもたちの将来に

夢が膨らみ、世界に羽ばたけるように幼児幼

少の英語教育を強化する必要があるのでないか。

答

泉教育長

町内の保育園では23年度からお遊戯会の中で英語になじむ活動を取り入れている。

また、小学校の高学年は英語教育を実践しているため、今後は小学校低学年にも取り組めるように考えていきたい。

答

定本町長

「美咲婦人のつどい」において婦人の方から、英語を学ぶ機会が欲しいとの意見があり、これについても前向きに検討したい。

テムズ町との

交流内容は

問

ニュージールランド・テムズ町との交流について基本的な合意が得られた。24年度で行われる交流の内容は。

答

遠藤企画財政課長

テムズ町と姉妹都市提携の合意書を書いた。本年度は▽外国青年招待招致事業で3人の英語教師を招く▽ホームステイ事業で夏休み2週間程度を利用して町内在住中学生(10人ほど)の体験学習▽調査派遣事業として一般の人を含め(10人ほど)の派遣を計画している。

答

定本町長

我々は世界に羽ばたく元気な子どもたちを育てる義務がある。子どもたちに、世界にはいろいろな文化や考え方があつて、体験してもらいたい。



ぼくらは未来の消防団 (百々地区自主防災訓練)

問 町長は自主防災組織の強化の方針を打ち出している。東日本大震災を踏まえて岡山県も地域防災計画を見直した。これに沿って本町も防災計画を見直すと思うが、自主防災組織結成の指導と資材・機材の助成を考えては。答 定本町長 県の防災計画に連動させた安心・安全の美咲町防災計画を策定すべく24年度予算に事業費を計上している。

町政を

質問

地区コミュニティ

整備に補助金を

現地を調査して

活用策を考えたい

答弁



下山和由 議員

問

地区コミュニティ施設を整備する時、内装工事は補助金の対象になっているが、周辺の舗装整備も補助金の対象にの望がある。

高齢者の利用も多く足元が角砂利などでは手押し車を利用しての歩行は困難である。財政のきびしい地区に対し多少でも補助金の対象にならないか。

答

遠藤企画財政課長 全施設を調査して対応を考えていき

い。

答

町内施設も見て一律的に公平であるか判断していく。条例を改正する必要もあり十分考えたい。

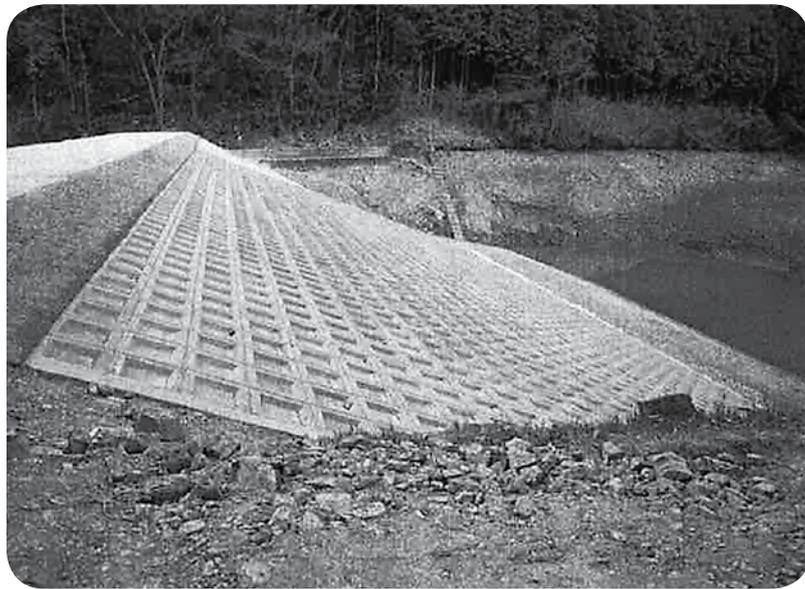
ため池の防災管理

を徹底せよ

問

柵原地域には170カ所のため池が存在する。中には老朽化して機能を果さない池、個人所有で管理が不十分な池、築後三百年という池もある。

下流には民家も存在しているため緊急時に備えて警告、避難場所などの細やかな対応ができるように関係団体などと災害防止マニ



ため池は昔から治水と利水の根幹である (藤原新池)

アルの作成について協議する必要があるのでは。

池本建設課長

答

町内全域には384カ所のため池がある。毎年5月中旬頃ため池管理者から点検の報告を受けている。

異常がある場合には現地で管理者と協議し必要な対策を講じる

よう指示し対応している。今後一層管理者と連携を強化し安全安心の確保と災害に強い地域づくりに努めていく。

清水柵原総合支所

答

柵原地域のため池は合併以降13カ所の災害復旧および改修工事を実施した。今後も積極的にため池の管理を徹

底させる。

柵原総合支所

周辺整備を急げ

問

支所の移転が完了し、職員も気持ち新たに行政サービスに頑張っている。現在旧庁舎の解体工事中でもあり外部からの来訪者は支所の位置がわからなく迷っている光景もある。

駐車場の整備、町道に横断歩道を示す等の整備を急ぐべきではないか。

答

中西柵原総合支所長

支所を示す看板は文化センターの壁に柵原総合支所という文字を設置している。道路の横断を示すことは警察の許可が必要である。

駐車場については旧鉾山事務所跡に20台、消防機庫の北側に20台、保育園完成後も駐車スペース確保に努力していく。

質問 新指導要領への 対策は 先行実施で 対応している 答弁



松島 啓 議員

問 ①23年度から小学校の新指導要領で、学習内容が大幅に増え、児童の学力格差の増大や授業が遅れるなどの調査結果が報道された。本町ではどうなのか。24年度から中学校も新指導要領で学習内容が増えるがその対策は。

②平成18年度から始まった学校2学期制が、検証の結果、24年度から3学期制に戻ることとなった。教育審議会の報告は、2学期制の良さを生かした3学期制の実施をしてほしいということであった。授業時間数確保などの対策は。

③美咲町教育振興基本計画が策定された。計画実施の主体者とし

での取り組みは。

答 泉教育長

①小学校では、授業が遅れるなどの問題は無い。中学校は、来年度に向け既に時間数を増やすなど先行実施で対応している。

②行事などの実施を工夫して、授業時間数を増やしていく。

③教育振興基本計画の柱である『学び』つながり『夢はぐくみ』の三つのプランを進めるため担当者を決め、学校、家庭、地域、各種団体と連携をとり積極的に取り組む。

大丈夫か

「みち停あさひ」

問 旭地域に待望の休憩所および農産物等直売所が整備された。生産者、消費者、地域内外の交流、活性化にも期待が高まる中、心配の声も聞くが。

①休憩所は、観光案内コーナーも設けるよ



集客力アップにどう取り組むのか (みち停あさひ)

うだが、桜のシーズンまでに設置を。

②農産物等直売所の運営は大丈夫か。施設内の充実、イベント開催など健全経営の施策は。

答 矢木産業観光課長

①休憩所は、未整備の所があり、観光コーナーも含め充実していく。

答 山本旭総合支所産業建設課長

答 各団体で、特産品の開発、農産物の充

②23年12月オープン以来、直売所は一日平均約60人の利用がある。冬場で品薄感があるが、売上げ向上するよう施設内の充実、イベント開催など検討する。津山農協が主体となつてネットワークづくりを推進していただき、町は支援していく。

定本町長

考える。

実、休憩所でのイベントなど、前向きに計画が進んでいる。もう少しばらばら様子を見ていただきたい。

健康づくりの新施策は

問 23年度の町のキーワードとして、『健康づくり』をあげ、特定検診などの無料化、人間ドック、各種予防接種の補助など取り組まれている。24年度の新施策は。

答 村島健康増進課長

予防接種事業は継続する。24年度はがん検診を推進したい。特に、若い人の受診率が低いので受診勧奨に力を入れる。

答 定本町長

新しい事業として24時間対応の電話相談事業を行う。特にひとり暮らしの人には喜ばれるのではないかと考える。

質問

水道料金の負担と

受益が不公平

近隣市町の状況を

見ながら検討する

答弁



角南憲一 議員

は、施設費を基本料金として負担いただくことにした。
下水道については現行を踏襲するが、上水道については近隣市町との関係も考慮して検討する。

状況は低迷している。原点に戻り農業公社、農業普及センター、津山農協、美咲物産などと連携して活用を考え

答 定本町長

ように活用するの。低酸素施設は将来有望なスポーツ選手が利用している。何千万円もの修理は無理としても、現状であれば、まだまだ活用できる。

低酸素施設は、一年以上動いていない部分を修理し、本年一月中旬から利用できるようになった。さまざまな活用が可能な施設と考

えている。本年度、百三十万円の予算が計上されているが、どの坑道の見学も視野に入れながら、美咲町のピーアールに努めていきたい。

問

町政は住民にとって暮らしの土台である。政策によって私たちの生活は大きく左右される。

問

水道をひとり暮らしの人が8立方メートル使っても、千五百七十五円支払うことになる。節水しても料金が下がらない。

答

赤堀上下水道環境課長

まず、上水道と下水道の料金はどうなっているのか。また、下水道はひとり暮らしの人は二千五百七十五円の場合、四十二百円である。一人当たりの使用料の差が大きいのではないか。

一般家庭の水道料金は10立方メートルまで千五百七十五円で、超える分については10立方メートルごとの料金体系となっている。下水道料金は一世帯

答

定本町長
合併時の合意

問

特殊性を生かした坑道農業と低酸素施設の現状はどのようになっているのか。

坑道の利活用

どう考える

答

矢木産業建設課長
坑道農業の利用



坑道農業で取り組む菌床シイタケ (柵原坑道)

質問

できるか第四章

黄福物語

さまざまな施策で

町に活力を出す

答弁



山本宏治 議員

問

美咲町黄福物語は、これまでに第一章から第三章でさまざまなプロジェクトが展開されてきたが、第四章の計画は考えているのか。

旭地域のみち停あさひ、三休公園、旭川に設置した鯉のぼりを吊るすワイヤーなどを利用した黄福物語のイベントが考えられないか。

答 矢木産業観光課長 黄福物語第四章は▽幸せをキーワードにした結婚推進事業▽

答

山本旭総合支所産業建設課長 旭川のワイヤーは、鯉のぼりシーズン以外での利用についても考えていきたい。

JR亀甲駅舎のイメージアップとJR津山線列車を黄色く彩る、ラッピング列車▽黄ニラとたまごを組み合わせた新商品の開発▽みち停あさひ、三休公園などを加えた黄色いハンカチマップなどを検討中である。

問

食堂かめつち。周辺にロウバイ、マンサクなどの黄色い花を植樹したテーマパークを作るといようなユニークなアイデアの募集も効果的では

答

岡部副町長

本町は黄色いイメージカラーで町おこしをしている。職員とともにイエローハッピープロジェクトとしてさまざまな提案活動を進めており、できることから始めていきたい。

答

定本町長

亀甲駅舎のシンボルも黄色でアピール



町の活性化策、次の一手は？（旭川ダム湖）

ル。黄色い菜の花も水田活用に利用したい。

成果の上がる健康づくりの具体策は

問

健康づくりの環境でさまざまな事業が計画されている。予防医療の面からも健康のための自己評価、自己診断などが簡単にできる方法はないのか。

答

村島健康増進課長 スポーツ基本法

が制定されスポーツ推進員と保健分野の連携が求められる。生涯学習と協力しながら自主的、自律的に健康状態に応じたスポーツなどの自己評価を考えた。

問

スポーツ大会などで検診車の配置、健康相談テントの設置を行えば健康増進の強化につながるのではないか。

答

村島健康増進課長 健診等は簡単に

はできないので設置は無理かもしれないが、検診の重要性、地域包括支援センターのピアールなどには有効な手段である。

答

定本町長

8月1日、NHKラジオ体操の放送を中央地内で行う。町民千人以上の参加を予定している。

質問

子どもの健全育成に 三世帯同居推進を

地域全体で見守る

体制を強化

答弁



日神山定茂 議員

問

文部科学省が昨年発表した児童生徒問題行動調査で、本町の状況は衝撃的な内容だった。

問題行動の背景に家庭教育の低下もあるのではないか。今の経済状態のなか共稼ぎ・核家族化など教育危機の原因がこの辺にあると思われる。

また、保護者が子育てによる疲労感や孤独感からストレスを抱え、虐待や放任など問題も起こっているとも

考えられる。

住宅産業界でも、プライベートを守りながら二世帯三世帯で生活するという取り組んでいる。町としても三世帯住宅利子補給など政策は作れないか。

答

泉教育長

学校の方針を受け入れない独自の考え方などそれぞれ家庭の

状況も大きく異なっている。家庭の愛・親の愛の足りないところを補完することもやらざるを得ない。

本年度から取り組む、地域の人と一緒にさまざまな作業をしながら勉強する「ホリデーわくわく事業」や、

中学校では「職場体験のチャレンジワーク事

業」など計画している。

地域・保護者に元気を出していただき、こちらも応援する。

答

定本町長

子どもの教育は親がするのが基本、学校は勉強を教えるところだ。しかし、今はそれ以上のことを学校でしなければならぬのが現状だ。

今は、地域で育てるのも考え方のひとつだ。三世帯で交流するのも、意味がある。三世帯同居の子育ては難しいと思うが、今後の課題にさせてもらう。

災害備蓄の検討は

問

町には二大河川があり、どんな災害が起きるか予測もつかない。細かい対応マニュアルで初期対応ができると思うが。

水・食料・燃料など備蓄を含めて対応は。

答

難波総務課長
注意報・警報・

特別警戒対策本部、災害の規模により、マニュアル化している。飲料水は自衛隊のろ過器

による給水と、被災していない水源や水道から搬送する。食料については、炊き出しを基本とする。

県の防災計画に沿って今後町の計画も見直していく。

生活保護の不正受給はないか

問

生活保護は生活に困窮した人にとっては大切だが、全国では多くの不正受給の報道がある。本町ではそのようなことはないのか。

答

福田保健福祉課長

不正受給というのは働いた収入を申告せず、保護費を受給することで、本町ではそのような例はない。

本町の保護世帯数は百十二世帯143人。



お年寄りの笑顔が子どもたちを育てる（三世帯交流）

質問

胃がんの抑制策を
追加できないか

もう少し研究する
時間がほしい

答弁



金谷高子 議員

問 日本は先進国の
中でも胃がん発生
率が非常に高い国。
胃がんの原因は長年
の研究でピロリ菌の感
染によって、胃の粘膜
が萎縮し胃がんが発生
することが明らかにな
った。

薬剤を服用してピロ
リ菌を除菌すると胃が
んになりにくいと言わ
れている。

まず大切なのは胃が
んの多くはピロリ菌に
よる感染症ということ
をわかってもらうこ

と、胃がんをなくすに
は一次予防のピロリ菌
の除菌が重要。

特定検診にヘリコバ
クターピロリ菌抗体検
査、ペプシノゲン検査
はできないか。

答 村島健康増進課長
24年度に検査を
取り入れていくのは難
しい。

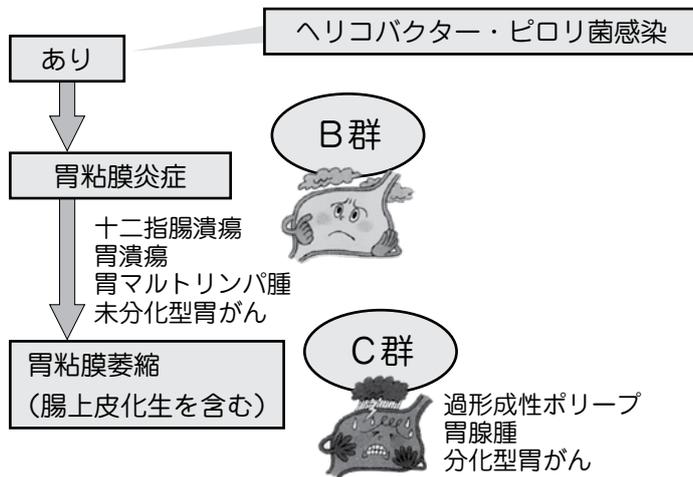
医師会の先生方と検
診のメリット、デメリ
ットを研究しながら考
えていきたい。

医療費抑制に
ジェネリックの
活用を

問 ジェネリック
(後発医薬品)は

新薬の独占販売期間が
経過した後に発売され

ヘリコバクター・ピロリ菌の感染と疾患



早期発見、早期治療でみんな健康長寿

る、有効成分、効能、
効果が同じ医薬品であ
る。同じ成分の医薬品
を安価に販売すること
ができるようになった。

高齢化社会にあつて
は医療費の増大が避け
られない。24年度国民
健康保険税も上がる。

毎年伸びる医療費を抑
制するために町として
統計をとってジェネリ

ック医薬品を推進して
はどうか。

答 福田保健福祉課長
美咲町国民健康

保険の保険者の立場と
しては、ジェネリック
医薬品についての統計
は何十万件のレセプト
を一枚一枚めくらない
とできないので今のと
ころ難しい。

各支所に希望カード

を常時置いている。お
医者さんと相談しなけ
ればいけない部分もあ
るので、個人個人でお
願ひしていただければ
と思う。

新婚向け
住宅家賃補助金
の拡充を

問 新婚向け住宅家
賃補助金の対象者
は35歳未満とある。
結婚しない男女が増
え、晩婚型になつてい
る現在、対象年齢の改
正をすべきと考えるが
町の考えは。

答 定本町長
この条例の趣旨
は、結婚したからお祝
いとして新婚の方に祝
い金を出すというので
はなく、35歳までの人
は収入が少ないので家
賃の補助をしていくも
のである。

議員から条例改正を
提案されれば前向きに
考えていきたい。

質問

町営、町有住宅の 将来計画は

民間活力に期待し

現状を維持

答弁



岩野正則 議員

将来計画は

も埋まらないと判断している。家賃を下げる
と民間を圧迫すると考
える。

定住促進の

拡充策は

答

定本町長

住宅家賃4万円
で4階、5階は空室が
あるが、家賃を下げて

問

町内の空き家の
提供、活用の呼び
かけを職員により実施

してはどうか。地域の
事情に詳しいので丁寧

答

定本町長

前回、旧町3地
域を調査員により調査
した。300件の空き
家で、提供は10件との
報告があり、商工会へ
提供した。

空き家については再
度、町の幹部職員に調
査するように指示した。

答

定本町長

分譲地は特別会
計で独立採算制である。
価格の見直しをこれ
以上すると、これまで
の購入者との公平性が
保てなくなる。

町の遊休地について
は、売却に向けて努力
する。

問

定住するために
は、雇用の場が必
要である。

起業支援（Uター
ン・イターン者、定住
者）の充実を図って
はどうか。

答

定本町長

行政が直接雇用
の場を提供することは
難しいが、企画財政課
関係ではNPO法人へ
の補助金、産業観光課
関係では農業支援につ
いての補助金を設けて
いるのでこれを活用し
てほしい。

問

旭地域に若者向
け戸建て住宅の建
設ができないか。

答

定本町長

新たな住宅建設
はできない。住宅建設
の補助金を活用して個
人での住宅建設を期待
する。

問

町有やなはら住
宅1号棟の入居率
向上のため、各階の家
賃の見直しをするべき
だ。近隣に影響する民
間共同住宅はないの
ではないか。



定住促進には住宅が必要では？（旭地域 夢清水住宅）

問

分譲地の価格の
見直し、遊休地の
販売実施を。

分譲地については、
県の分譲地は何度も値
下げを実施している。

町外、県外の人に優
先的に販売できるよう
な工夫が必要だ。更な
る、販売促進を期待す
る。うたのしも団地に
ついては追加造成の要
望も聞いている。前向
きな取り組みを。

質問
将来的に広域下水道
を目指すべき

効率を考慮して
長期的に研究する
答弁



松田英二 議員

問 中央地域の下水道は、旧鏡野町、旧久米町と共に津山市の公共下水道汚水幹線に接続し津山浄化センターで汚水を処理している。

答 この広域組織はなぜできたのか。当時の資料によると、多額の費用を要する下水道施設の経費を削減する目的で4市町が協力して整備するこ

とになった。

この結果、旧中央町だけで五億三千五百四十万円、4市町全体では五十八億四千九百九十四万円の経費が削減された。

問 一方、柵原地域の下水道は公共下水道と農業集落排水により町内に三つの処理場が建設され、それぞれで汚水処理が行われている。

今後、汚水処理量が半分になっても現在の形を続けていくのか。

答 山下柵原総合支所 上下水道課長

今の段階においては現在の状態を継続し、施設・設備の更新時期を迎えた時に方向性を



みんなで考えよう下水道の将来（柵原浄化センター）

検討する。

問 下水道事業は独立採算である。今後の維持管理費、その後の更新費用は町民の利用料金に直結している。

柵原の三つの処理場は一カ所に統一して維持管理費を最小限に留め、将来的には隣接する英田浄化センター、吉井浄化センターとの広域下水道組織の確立を目指すべきである。

答 定本町長

現状においては下水道統合の国の補助制度は確立されていない。

今後、時間をかけて研究し、一番効率の良い方法を考案していく。

**公営住宅整備
計画の策定が
必要では**

問 本町の町営・町有住宅の状況はどうなっているか。

答 柔元住民課長

町営住宅124戸（入居114戸）、特定公共賃貸住宅12戸（入居12戸）、町有住宅138戸（入居66戸）となっている。

問 公営住宅は社会福祉の増進が目的だが、近年では「若者定住促進住宅」「高齢者専用住宅」などその用途は幅広いものとなっている。

多様化する住民ニーズに対応するためには現施設の見直しを行い統合・再編・廃止・民間活力導入も含めた公営住宅整備計画の策定が必要ではないか。

答 定本町長

町内の人口減少に歯止めをかける意味からも住宅整備は必要だが、まずは財政運営の適正化を先行させ、財政状況を見極めた上で判断したいと考える。

質問

水道ビジョンに

沿った対応は

国の政策を見極めて

対応する

答弁



貝阿彌幸善 議員

る。水道ビジョンの数値、有収率80%で改善されていない。防災計画の中で「水」の部分はあるが、テロに対す

る防災等の監視対策は具体的にできていない。耐震化対策も現状では出ていない。水道の統合は原点に戻って補助金がある間に、より効率のいい水道運営ができる施設整備などを併せて協議を進めている。漏水、破裂などは修理し説明にあたる。

答 定本町長

企業団から水を買っている。一日4千200トン、基本料金は1立方メートル十五円、使用分については八十八円、料金見直しにより、今年から基本料金三十四円、使用分は四十七円となり、年間約二千四百万円安くなる予定。基本水量の見直しについては近隣町村と研究して行きたい。

下水道事業に

対する評価は

問

下水道事業の今後の対策、将来の目標ビジョンの推進は。

答

赤堀上下水道課長 旭地域は合併処理浄化槽を進めている。柵原地域の農業集落排水事業は完了。公共下水道事業は80ha三十八億円の事業費で平成18年度から工事開始、平成35年度完了予定。中央地域公共下水

答

定本町長

下水道事業は147・5ha六十六億円の事業費、工事は平成24年度完了予定で越尾地区を残すのみとなっている。事業評価は時期尚早と考えているが、合併処理浄化槽を含め一層の汚水処理の普及を図る。計画区域外については合併処理浄化槽の補助金をアップし、今後も啓発活動を行い早期接続をお願いしていく。

中央地域は接続率が低い、柵原地域は下水道計画クリーンライフ100という計画図があり、これについても一度見直しをお願いした経過がある。下水道計画区域から外れてもらい、早く合併処理浄化槽にすれば、計画から実施まで時間がかからず、後の経費も少なくて済むので、是非進めて行きたいと思っています。

問

上下水道事業の現状分析と評価、将来目標の設定、実現方策の検討、ビジョンの推進はできているか。

また、急激な社会情勢の変化による計画の見直しと、緊急時の余裕率対策、漏水対策、有収率の目標、防災マニュアルはできているか。

答

赤堀上下水道課長

平成28年度で簡易水道事業の補助金がカットされ上下水道に移る大きな変革に方向性が出て行くと思われ



水道は最も重要な生活基盤（連石配水池）

質問

柵原橋は架け替える
必要があるのでは

安全対策には

補修で対応する

答弁



梁山朝子 議員

問 柵原橋は子ども
の通学路。架け替
える予定は。

答 清水柵原総合支所
産業建設課長

橋脚の耐震診断を4
年前に行ったが安全に
問題がないので今架け
替えの考えはない。

問 以前に架け替え
が約束されていた
と聞く。

柵原鉦山の隆盛を極
めた頃、藤原から柵原
側へと歩行、自転車通
勤を行っていた関係で
道幅が狭く、子どもの

通学時間に交通規制さ
れている。また路面は
波打っているところが
できて段差がある。橋
脚の強度からも道幅を
広げることができなけ
れば、将来架け替える
計画に入れる必要があ
るのでは。

答 定本町長

接続部分を滑ら
かに舗装し安全に通行
できるようにする必要
がある。

架け替えではなく補
修で対応する。

住宅リフォーム
の補助制度は
できないか

問 住宅リフォーム
補助金は、身体障
害者や介護の必要な人

には助成があるが、低
所得者や高齢者で該当
にならない人のため、
他町を参考にメニュー
を示し、上限額を決め
て実施するよう提案す
る。経済効果が波及し
全国的には住民から大
変喜ばれているので検
討を。

答 定本町長

先進地の事例も
研究する。



子どもの通学路はもっともっと安全に（柵原橋）

検診率の向上に
努力を

問

住民検診率アッ
プで病気の早期発
見、早期治療の啓発強
化を。

国保税アップにつな
がらないように。

答

村島健康増進課長
受診機会も個別
検診と集団検診もあわ
せ選べるように工夫し

ている。意向調査も実
施し対策も具体的に考
えていく。

問 みさきネットを
活用した健康講座
の啓発も大切だと思
うが。

答 村島健康増進課長
一つの課だけで
は限界があると思うの
で積極的な健康増進に
取り組む。

保育士は
正規職員に

問 子どもたちが健
やかに育つこと、
子どもの人格形成にか
かわることなので保育
士が果たす役割を考え
て、教育と保育には予
算を取って子育ては失
敗を許されないことを
深く認識して、正規職
員の採用を進めるべき
である。

答 定本町長

2人ずつではあ
るが年次的に正規職員
の採用を行っている。

質問

水道未普及地域の
解消を

簡易水道統合計画の
中で検討する

答弁

解消を



岡田 壽 議員

両金、大野畑、飯竹の三集落には現在水道施設は整備していない

三集落7軒には小規模給水事業を利用して

が、要望があれば小規模給水施設整備事業で対応していく。

定本町長

答

地元管理の6水道は地元管理ができない状態になれば簡易水道に接続することになっている。

答

山下柵原総合支所 上下水道課長 柵原飯岡簡易水道は昭和45年開始、平成59年で基幹改良を完了した。

ほしい。住民から水不足の対応を求められれば検討する。

問

23年度に50人委員会で活発な議論が重ねられている。22年度、23年度の提言を受け予算などへの反映はできたか。

反映できたか
50人委員会の
提言

答

22年度の提言もあり合併浄化槽の補助増額、消防旭出張所への高規格救急車の配備などが実現に至った。提言には保育園の将来計画や生活支援サポートターの推進などソフト面の意見をたくさんいただいた。取り入れられないものもあるが、多くの提案の中から選択し、町政に生かしている。

町内全域に簡易水道が普及されているが、いまだに簡易水道の恩恵を受けていない集落がある。早急に解消すべきでは。また、老朽化した水道管の改善策を考えているか。

答

赤堀上下水道環境課長 簡易水道を設置せず地元水道組織で管理しているものが旭地域のやすみだわ、びしゃもん、休札、毘沙門、北、広末、長峪、大瀬、大瀬の6水道。約70軒。



地元での水道管理は大変なんです (旭・長峪地区水道施設)

問

今後、町内全域の水道管改善には多額の費用を要することになる。綿密な整備計画の策定が必要ではないか。

答

定本町長 配水池の統合、水道企業団との協議などで経費削減を図り、

答

今後とも、我々の気にかないことが提案されればと期待している。

請願・要望

敬称は省略させていただきます。

〔障害者総合福祉法〕
〔仮称〕制定に関する意見書の提出を求める請願

〔紹介議員：梁山朝子〕
〔民生教育常任委員会付託〕

障害者の生活と
権利を守る岡山県
連絡協議会

会長 吉田裕美
障害者が自立し、社会参加するための支援を行う施策は重要であり、全会一致で採択とした。

衆議院の比例定数80削減に反対し、選挙制度の抜本改革を求める意見書の提出を求める請願

〔紹介議員：梁山朝子〕
〔総務常任委員会付託〕

平和・民主・革新を
目指す岡山の会

代表世話人 中尾元重
現時点においては国会の動向が明確ではなく、情報が不足している。今しばらく状況を見極める必要がある。

〔継続審査〕とした。

町道大西く東地線改良工事についての要望

〔産業建設常任委員会付託〕

大井和東地区
地区長 村上真人

現在の道路は道幅が狭く危険箇所も多く存在する。待避所の設置など必要であり、全会一致で採択とした。

議長杯ゲートボール大会新設についての要望

〔民生教育常任委員会付託〕

美咲町老人クラブ
連合会

会長 山本克彦
生涯スポーツの利用者、愛好者の生きがい

づくり、健康づくりにも有意義なことであり、全会一致で採択とした。

議員発議

障害者総合福祉法の制定を求める意見書

障害者が基本的な権利を享有する個人として尊重され、障害のない者との平等が補償される社会を実現し、自立した地域生活が可能となる質的、量的に充実した障害福祉施策の提供体制を確立することは重要である。

この内容を強く求める意見書を日本政府に対して送付した。

その他案件

工事請負契約変更議案が上程され、審議の結果全会一致で承認した。主な内容は次のとおり。

◎工事請負契約の変更

- ◇加美小学校ランチルーム新築工事
- 蜂谷工業(株)(岡山市)
- (有)黒瀬建設(美咲町)
- 特定建設工事共同企業体
- 加美小学校ランチルーム、新築工事の契約内容に変更が生じたため契約金額を八千九百五十六万二千九百円に変更する。

人事案件

◎人権擁護委員の選任

人権擁護委員の任期満了に伴い委員の選任に同意した。

美咲町南

西村 昌計氏
(再任)



美咲町中

岡田 洋子氏
(新任)



◎教育委員会委員の選任

教育委員会委員の任期満了に伴い委員の選任に同意した。

美咲町南

西村 昌計氏
(再任)



美咲町藤田上

寒竹 美穂氏
(再任)



美咲町小原

延原 幸子氏
(新任)



組合議会の報告

組合議会とは、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織



津山圏域のし尿処理拠点、衛生処理組合
(津山市川崎)

津山圏域

衛生処理組合

(津山市、鏡野、美咲町)
2月1日、定例会を開催し、24年度一般会計予算五億六千六百七十五万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

報告事項

◎第3期包括複数年運転管理業務委託についての入札を実施した結果、アタカ大機(株)(大阪市此花区)と十二億八千三百万円で契約した。
契約期間は、平成24年度～29年度までの

6年間。

津山圏域

西部衛生施設組合

(津山市、鏡野、美咲町)
2月1日、定例会を開催し、24年度一般会計予算二億八千三百二十三万円の1議案を審議、全会一致で可決した。

久米老人ホーム組合 (静香園)

(津山市、久米南、美咲町)
2月13日、定例会を開催し、24年度一般会

計予算一億五千四百一十二万円、特別会計予算二千二百万円など4議案を審議、全会一致で可決した。

津山広域事務組合

(津山市、勝央、奈義、鏡野、久米南、美咲町)
2月17日、定例会を開催し、23年度一般会計予算三千七百万円、特別会計予算千二百七十四万円など4議案を審議、全会一致で可決した。

津山圏域消防組合

(津山市、鏡野、奈義、勝央、久米南、美咲町)
2月17日、定例会を開催し、24年度一般会計予算二十五億千八百三十二万円など4議案を審議、全会一致で可決した。

津山農業

共済事務組合

(津山市、鏡野、久

米南、美咲町)
2月17日、定例会を開催し、24年度農業共済事業会計予算三億八千二百七十一万円など7議案を審議、全会一致で可決した。

津山圏域

資源循環施設組合

(津山市、勝央、奈義、鏡野、美咲町)
2月22日、定例会を開催し、24年度一般会計予算四億五千五百八十八万円等2議案を審議、賛成多数で可決した。

報告事項

◎24年度～47年度までの津山圏域クリーンセンター施設建設・管理運営を委託するための公募を実施した。年内には業者選定の後契約を行う。

勝英衛生施設組合

(美作市、西粟倉村、勝央、奈義、美咲町)
2月23日、定例会を開催し、24年度一般会計予算一億二千五百二

十万円を審議、全会一致で可決した。

柵原吉井英田

火葬場施設組合

(美作市、赤磐市、美咲町)
3月29日、定例会を開催し、24年度一般会計予算千七百九十九万円1議案を審議、全会一致で可決した。

柵原吉井特別養護

老人ホーム組合 (吉井川荘)

(赤磐市、美咲町)
3月29日、定例会を開催し、24年度一般会計予算三億五千五百一十万円など2議案を審議、全会一致で可決した。

岡山県中部環境

施設組合

(真庭市、美咲町)
3月30日、定例会を開催し、24年度一般会計予算四億二百四万円など2議案を審議、全会一致で可決した。



町民の皆さんこんにちは
サークル紹介第14回

元気の秘訣は食べて、動いて、楽しんで！

ハイポキ柵原トレーニングクラブ



町内のサークルを紹介します。
楽しいサークル、ユニークなグループへ連絡ください。
議会広報委員がおじゃまします。

いつ頃から活動していますか

平成15年から活動を開始して今年で9年目を迎えました。

どんな活動をしていますか

健康増進部とランニング部の2つの部を構成して、週に2回筋力トレーニング、ストレッチ、ランニングに励んでいます。成果は確実に現れてきていますよ。

メンバー構成は

美咲町内外の20歳代から70歳代までの男女25人で楽しみながら仲良く頑張っています。

活動を始めたきっかけは

高齢者の体力低下をいかに抑えるか、若者の身体能力のアップ、女性のナイスバディーを目指して始めました。

楽しいことは何ですか

体重・体脂肪・骨量・筋肉量を計測しその結果にニヤニヤ。県内外のマラソン大会に出場しその成績にニタニタ。また、年に数回、飲んで・食べて・しゃべりまくって親睦を深めています。

これからの活動は

会員一人ひとりの健康維持とスキルアップを目的に活動を続け、目標に向けて進む楽しさを共有できる仲間を増やしていきたいと考えています。

議会に一言

ハイポキとは低酸素という意味です。この国内でも珍しい施設のピーアールと施設の維持に力を貸してください。

皆さんのあふれるチャレンジ精神を美咲町全体に広げて下さい

編集後記

中央地域にある緑花公園の一角に、美咲町消防団機能分団女性部機庫が完成しました。名付けて「さくら隊」。

岡山県下では初めての施設です。21人の女性団員により防火・防災を呼び掛ける広報活動の拠点施設となるもので、彼女たちの活躍には大きな期待が寄せられています。

時代は、今まさに男女共同参画社会の到来を告げています。既にあらゆる場面で女性の進出が目立っていますが、女性の持つ優しさや男性の持つ力強さを融合させて、素晴らしい町を創造していきましょう。(岩野記)

議会広報編集特別委員会

委員長 松田 英二

副委員長 小島 洋征

委員 岩野 正則

金谷 高子

草苺 良明

松島 啓